

平成 27 年度第 3 回  
伊万里地区新高校  
設置準備委員会  
(資料)

平成 27 年 10 月 26 日  
佐賀県教育委員会

## 目次

	頁	
資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第2回新高校設置準備委員会報告まとめ・・・・・・・・・・	1
資料 2	めざす学校像について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
資料 3	新高校の学科構成について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
資料 4	新高校の校地について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
資料 5	新高校設置準備委員会設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
資料 6	伊万里地区新高校設置に向けた検討体制・・・・・・・・・・・・	17
資料 7	伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成・・・・・・・・・・	18

資料1 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）

第2回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成27年 7月27日(月) 10時～11時45分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 12人 県教育委員会関係委員 8人
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成27年 7月27日(月) 15時～16時40分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 8人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成27年 7月28日(火) 15時～16時40分 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 8人 県教育委員会関係委員 8人
伊万里地区 ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成27年 7月31日(金) 15時～16時40分 伊万里商業高校 会議室	学校関係委員 4人 地域関係委員 7人 県教育委員会関係委員 8人
唐津地区 ・ 厳木高校	平成27年 8月17日(月) 9時30分～11時 厳木高校 同窓会館	学校関係委員 3人 地域関係委員 5人 県教育委員会関係委員 9人 太良高校 山口校長

2 主な意見等

地区	主な意見等
杵島地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「めざす学校像」について、今ある教育目標などを足し合わせるだけでなく、新しい学校にプラス ができないか。</li> <li>・ 新高校がこの地区で果たす役割を確認して、担わせるものを明らかにするとわかりやすい。</li> <li>・ 2校を再編する中で、特色や魅力につながるものを精選し、新しい学校に受け継がせることが重要である。</li> <li>・ 多様化する社会に対応できるよう、いろいろなコースを作って人材を育成してほしい。</li> </ul>
鹿島地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい学校に子どもたちが誇りを持つことは大切なので、「郷土を愛し、母校に誇りを持つ」というようなフレーズを入れてほしい。</li> <li>・ 選挙権年齢が18歳に引き下げられるので、社会の一員としての自覚に関する文言は必要ではないか。</li> <li>・ 田澤先生の理念である「人格の完成をめざし人間教育の振興」という文言は残すべきである。</li> <li>・ 新高校の学科構成については、現在の産業構造や地域産業も考慮する必要がある。そういうデータが欲しい。</li> </ul>

地区	主な意見等
嬉野地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「めざす学校像」の内容として、1つは知・徳・体のバランス、2つ目は佐賀の良さを学び、地域と連携する学校であること。これらに加えて、地元企業のグローバル化等に対応し、国際社会に貢献できるような人材育成という視点も大事である。</li> <li>・ 「地域」と「グローバル」という2つの視点を入れてほしい。</li> <li>・ 「めざす学校像」の示し方としては、箇条書きで示した方がわかりやすくてよい。</li> <li>・ 新高校の学科は、専門学科として残すべきである。</li> </ul>
伊万里地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「めざす学校像」の3つの案は、どれも基本的に「これからやっっていこう」という姿勢が示されている。</li> <li>・ 「めざす学校像」は、学校の存在意義、この地域にこの学校が存在する意義というような、大きなものであり、これを明らかにした後で教育目標などを作っていくことになる。</li> <li>・ 「めざす学校像」案の、「至誠」は伊万里農林高校に、「礼節」は伊万里商業高校に由来する言葉である。これに両校共通の「勤労」という言葉がある。固い言葉ではあるが、歴史を感じさせる言葉なので、これらの言葉を生かしたい。</li> <li>・ 学科について話をする際、地域ニーズを把握するため、地域の産業界の方をこの委員会に呼んで意見を聞いてはどうか。</li> </ul>
唐津地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太良高校では、担任や副担任の他に、学習支援員や地域連携の支援員、学校設定科目に関わっていただいている特別非常勤講師など、外部の方の関わりが多い。学校だけでは難しい面があり、地域との関係は大事だと思う。</li> <li>・ 「めざす学校像」としては、ポイントを箇条書きにした案の方が、具体的に良い。</li> <li>・ 「めざす学校像」に、現在の校訓や三省も生かして欲しい。</li> <li>・ 不登校経験や発達障害のある生徒など、可能性を伸ばせなかった子どもたちを地域と一緒に育てる、そういうふうに関心を持って一人一人の生徒を丁寧に育て、社会に出していくという姿勢が伝わる「学校像」であれば、と思う。</li> </ul>

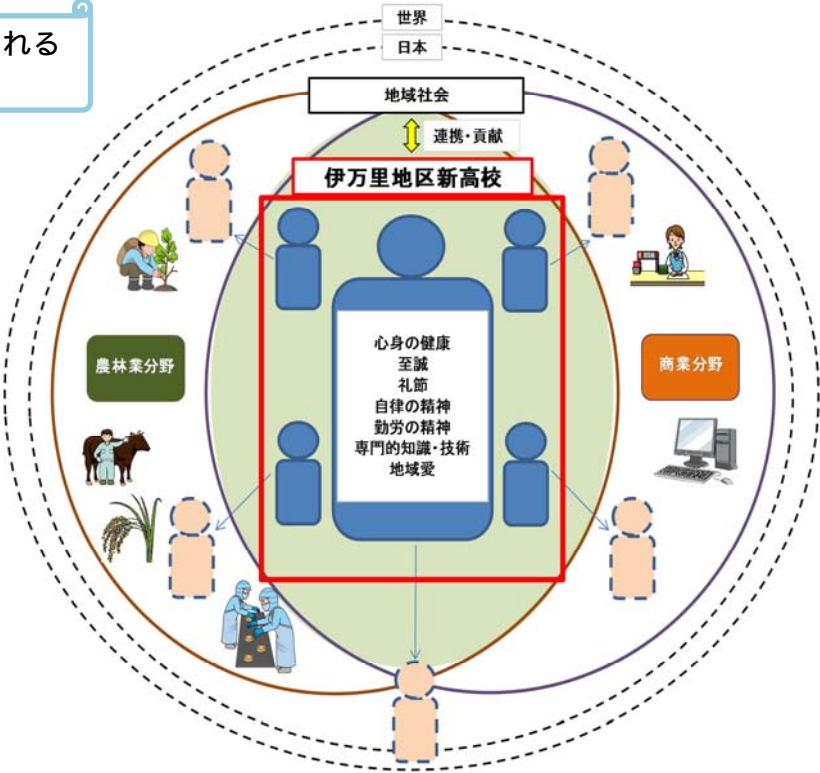
資料2 めざす学校像について

めざす学校像 (案)

心身ともに健康でたくましく、至誠と礼節を重んじ、自律と勤労の精神のもと、研鑽を積んだ専門的知識・技術と創造力で社会に貢献する人材を育成し、生徒一人ひとりが地域を愛し、夢に向かって挑戦していく学校。

「知 徳 体」のバランスと両校に共通する「たくましさ」「勤労の精神」を大切にしていく。  
両校の歴史を感じさせる言葉である「至誠」「礼節」を大切にしていく。  
地域を愛し、地域に愛される学校であることを大切にしていく。

めざす学校像から考えられる  
新高校のイメージ図



## 参考資料

### 第2回伊万里地区新高校設置準備委員会で示した案

#### 第1案

健全な心身の発達と至誠・礼節の心を持った、個性豊かな人間性の涵養を図るとともに、体験的・実践的な教育を通して専門に関する多様な知識と技術を身につけ、地域を愛し、地域に貢献する勤労精神に溢れた人物を育成する学校。

#### 第2案

人間としての生き方と在り方の観点から

1 心身ともに健やかで、情感豊かな心を育む学校（心の教育）

2 至誠・礼節・勤労および自他への敬愛を重んじる態度を育む学校（自主自律）

生涯教育とキャリア教育の観点から

3 生徒一人ひとりが知識と技能を研鑽し、社会人としての資質と創造力を育む学校

4 個々に応じた進路指導の充実と多様な進路実現を図る学校

地域連携の観点から

5 地域に学び、地域に信頼され、生涯に渡って地域社会に貢献する人材を育む学校

#### 第3案

心身の健康増進と、至誠・礼節・忍耐を重んじる人間性の涵養を図るとともに、専門に関する多彩な知識と技術を身につけ、生涯に渡って地域社会に貢献し得る、勤労の精神に溢れた人物を育成する学校。

これまでの伊万里地区新高校設置準備委員会で主な御意見

#### めざす学校像について

- ・ 両校を合わせれば、おもしろい学校になると思う。第1次、第2次、第3次産業という視点から、他に類を見ない学校づくりができると思う。
- ・ 「めざす学校像」は、学校の存在意義というような大きなものであり、これを明らかにした後で教育目標などを作っていくことになる。
- ・ 「至誠」は伊万里農林高校に、「礼節」は伊万里商業高校に由来する言葉である。これに両校共通の「勤労」という言葉がある。固い言葉ではあるが、歴史を感じさせる言葉なので、これらの言葉を生かしたい。
- ・ 「健全な心身」あったほうがよい。「たくましさ」は両校のイメージに合う。
- ・ 従来なかった「明るい未来」や「夢」のような新しい言葉があっても良い。

資料3 新高校の学科構成について

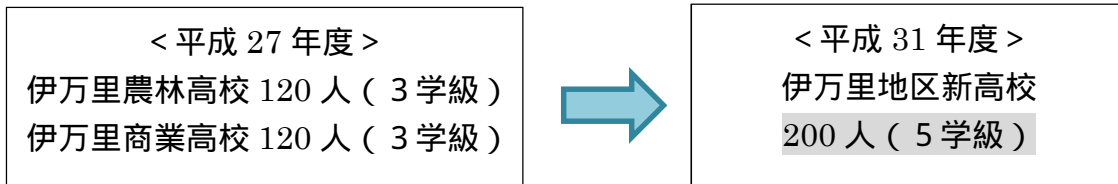
- 1 新実施計画（第1次）における新高校の学科についての基本的な考え方  
 「現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。」こととしている。

<平成27年度現在の学科の状況>

学校	大学科	小学科	募集定員 (人・学級)	備考
伊万里農林高校	農業科	生物生産科	40人・1学級	2年次より 「植物コース」「動物コース」
		食品化学科	40人・1学級	
		森林工学科	40人・1学級	2年次より 「土木コース」「林業コース」
伊万里商業高校	商業科	商業科	80人・2学級	
		情報処理科	40人・1学級	

2 新高校の学科構成について

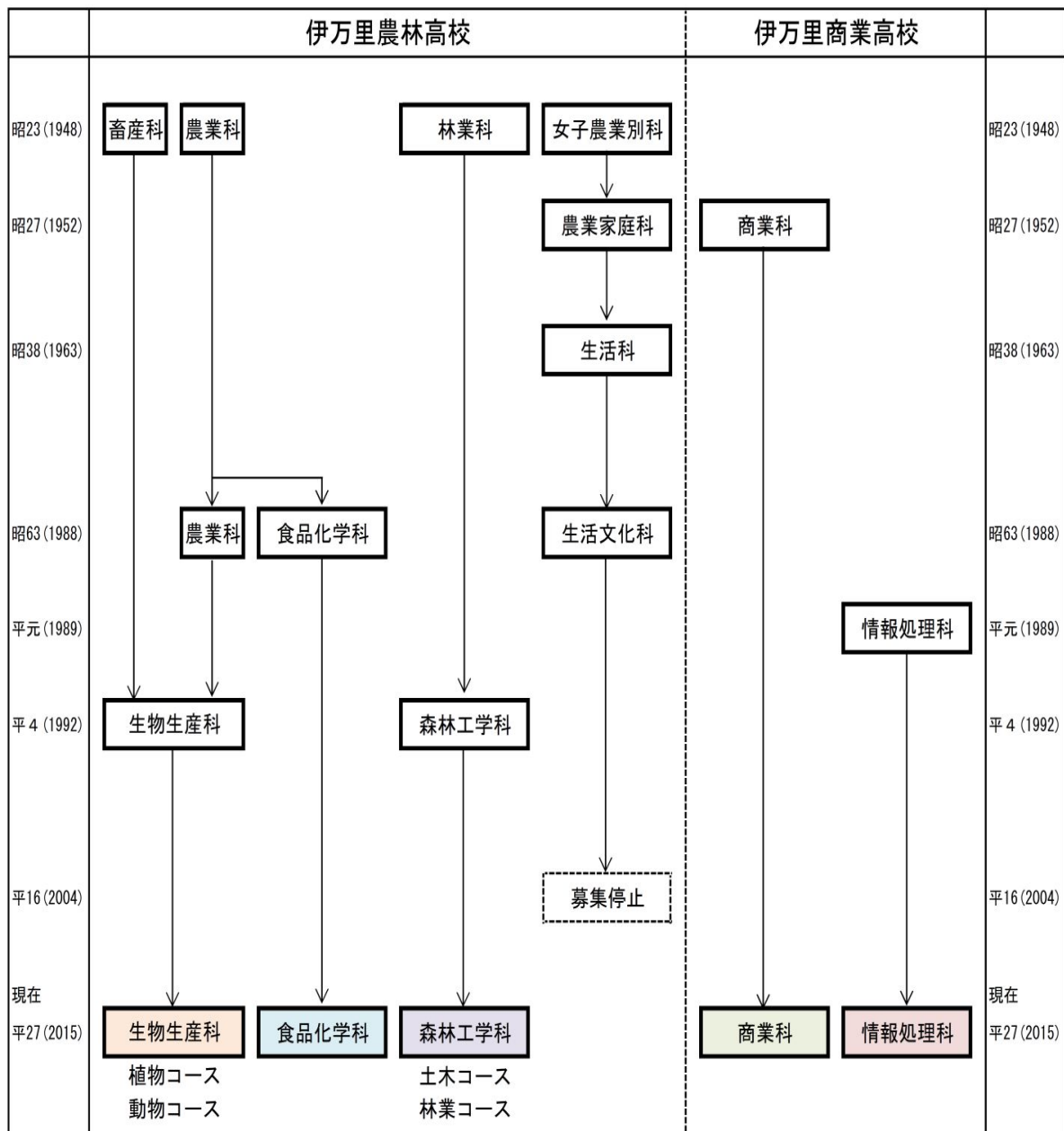
(1)募集定員の見込



(2)学科構成のパターン

平成31年度									
パターン	大学科	小学科	募集定員	学級数	パターン	大学科	小学科	募集定員	学級数
パターン1	農業科	生物生産科	40	1	パターン5	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			森林工学科	40	1
		森林工学科	40	1			※融合新学科(農業系)	40	1
	商業科	商業科	40	1		商業科	商業科	40	1
		情報処理科	40	1			情報処理科	40	1
パターン2	農業科	生物生産科	40	1	パターン6	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			食品化学科	40	1
		森林工学科	40	1			※融合新学科(農業系)	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	80	2
パターン3	農業科	生物生産科	40	1	パターン7	農業科	生物生産科	40	1
		森林工学科	40	1			食品化学科	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	40	1
		情報処理科	40	1			情報処理科	40	1
パターン4	農業科	生物生産科	40	1	パターン8	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			森林工学科	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	80	2
		情報処理科	40	1			※融合新学科(商業系)	40	1

1 これまでの学科の変遷（学制改革以降）





## 2 各学科の内容

### 生物生産科（伊万里農林高校）

平成4年、学科改編により農業科・畜産科を生物生産科と改称  
コース

- <植物コース> 農業専門科目の「野菜」、「果樹」、「草花」を2年次必修、3年次は3つのうち1科目選択必修。「植物バイオテクノロジー」は2・3年次必修。また、3年次には「グリーンライフ」や家庭専門科目の「フードデザイン」を選択可能。
- <動物コース> 農業専門科目の「畜産」は2・3年次必修。「動物科学」は2年次、「動物バイオテクノロジー」は3年次に必修。また、3年次には「グリーンライフ」や家庭専門科目の「フードデザイン」を選択可能。

### 食品化学科（伊万里農林高校）

昭和63年に新設

農業専門科目の「食品製造」、「食品化学」、「微生物利用」は2・3年次必修。「食品流通」については2年次必修、3年次選択可能。「食品衛生学」と家庭専門科目の「フードデザイン」は3年次に選択可能。

### 森林工学科（伊万里農林高校）

平成4年、学科改編により林業科を森林工学科と改称  
コース

- <土木コース> 農業専門科目の「農業土木設計」、「農業土木施工」、「水循環」は2・3年次必修。「測量」は2年次必修、3年次は選択可能。また、3年次は「造園技術」と家庭専門科目の「フードデザイン」を選択可能。
- <林業コース> 農業専門科目の「森林科学」、「森林経営」、「林産物利用」は2・3年次必修。「測量」は2年次必修、3年次は選択可能。また、3年次は「造園技術」と家庭専門科目の「フードデザイン」を選択可能。

### 商業科（伊万里商業高校）

商業専門科目の「財務会計」か「原価計算」のどちらかを2年次に必修。3年次は「ビジネス情報」を必修とし、「ビジネスと経済」、「経済活動と法」、「財務会計」、「電子商取引」は選択科目。

### 情報処理科（伊万里商業高校）

平成元年に新設。

商業専門科目の「財務会計」、「ビジネス情報」、「プログラミング」は2年次に必修。3年次は「電子商取引」、「ビジネス情報処理」を必修とし、「ビジネスと経済」、「経済活動と法」、「財務会計」、「原価計算」は選択科目。

### 3 伊万里地区の学科の状況

#### (1) 配置

伊万里地区の学科及び募集定員（440人 11学級規模）

普通科 200人（5学級規模）

（伊万里高校 200人）

専門学科 240人（6学級規模）

（農業科：伊万里農林高校 120人、商業科：伊万里商業高校 120人）

#### 【農業科、商業科の全県配置】



## (2) 伊万里地区の高校別志願状況

地区	学校名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	9月	11月	一般	9月	11月	一般
伊万里地区	伊万里	1.01	1.02	1.05	0.98	0.95	1.00	0.91	0.90	0.91	1.11	1.13	1.11	1.10	1.07	1.03	1.06	1.02	1.03
	伊万里農林	1.15	1.10	1.06	1.38	1.29	1.41	1.18	1.11	1.21	1.50	1.28	1.23	1.14	1.19	1.23	1.22	1.15	1.26
	伊万里商業	1.08	1.18	1.24	1.24	1.32	1.38	0.93	1.09	1.01	0.98	1.13	1.32	1.09	1.11	1.19	1.09	1.13	1.01
西部学区計		1.07	1.07	1.10	1.03	1.03	1.07	1.08	1.08	1.09	1.07	1.08	1.13	1.07	1.06	1.05	1.02	1.01	1.05

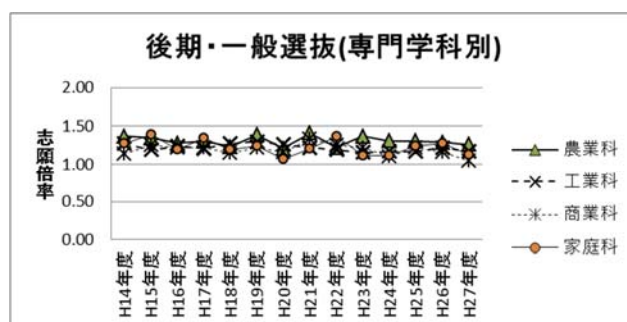
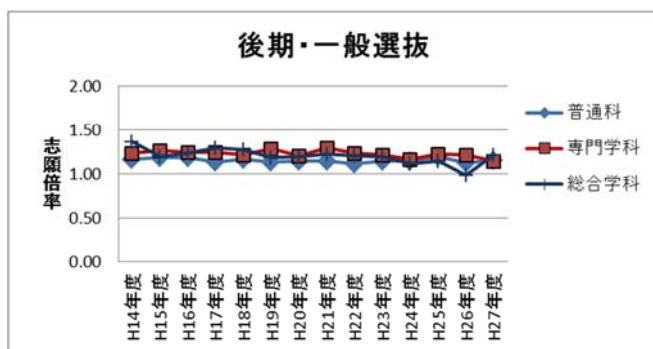
※網掛けは1.00倍未満

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率である。

### 【参考1 県全体の学科別志願状況】

後期・一般	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
普通科	1.11	1.14	1.14	1.19	1.12	1.15
専門学科	1.23	1.21	1.16	1.22	1.21	1.14
農業科	1.22	1.37	1.31	1.31	1.29	1.26
工業科	1.19	1.16	1.17	1.17	1.22	1.17
商業科	1.25	1.22	1.10	1.22	1.16	1.05
家庭科	1.37	1.11	1.11	1.24	1.27	1.13
総合学科	1.20	1.19	1.11	1.14	0.98	1.21
県立全体	1.16	1.17	1.15	1.20	1.15	1.15

理数科及び芸術科は普通科に含む。



### 【参考2 商業科の小学科別志願状況】

大学科	小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	9月	11月	一般	9月	11月	一般
商業 くくり募集 は商業系 に含む	商業	1.28	1.24	1.25	1.25	1.25	1.22	1.24	1.20	1.10	1.16	1.19	1.22	1.20	1.14	1.16	1.11	1.10	1.05
	商業系	1.36	1.27	1.24	1.27	1.30	1.27	1.24	1.23	1.10	1.18	1.20	1.21	1.29	1.19	1.18	1.13	1.14	1.09
	情報系	1.02	1.14	1.20	1.20	1.09	1.07	1.21	1.13	1.09	1.06	1.13	1.25	0.90	0.81	1.08	1.04	0.95	0.93
	その他	1.20	1.30	1.68															

※網掛けは1.00倍未満

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率である。

### 【参考3 農業科の小学科別志願状況】

大学科	小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	9月	11月	一般	9月	11月	一般
農業	農業	1.22	1.22	1.22	1.22	1.23	1.37	1.34	1.25	1.31	1.41	1.37	1.31	1.23	1.25	1.29	1.25	1.21	1.26
	生産系	0.98	1.26	1.35	1.18	1.09	1.43	1.31	1.31	1.39	1.38	1.35	1.31	1.15	1.18	1.27	1.19	1.34	1.26
	食品系	1.65	1.34	1.29	1.53	1.47	1.32	1.50	1.35	1.27	1.79	1.59	1.31	1.55	1.43	1.31	1.48	1.23	1.28
	土木系	0.86	0.93	1.01	0.87	1.10	1.35	1.15	1.05	1.25	0.96	1.12	1.32	0.90	1.13	1.29	1.03	1.00	1.24
	生活系	1.55	1.45	1.13															

※網掛けは1.00倍未満

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率である。

※農業科の生産系学科は「園芸工学科」「生産技術科」「生物生産科」「農業科学科」とする。

※農業科の食品系学科は「食品流通科」「食品化学科」「食品科学科」とする。

※農業科の土木系学科は「緑地土木科」「森林工学科」「環境工学科」とする。

※農業科の生活系学科は「生活文化科」とする。

(3) 伊万里地区の中学生の進路状況

伊万里地区の中学生の進路状況を分析すると、7割以上が県内公立高校に進学しており、普通科は約3割、専門学科は4割を超えている。地域としてはほとんどの生徒が、地元である旧西部学区へ進学している。

伊万里地区 中卒者進路	全日制			定時制 ・ 通信制	高専 ・ 特別 支援	就職等 左記 以外	卒業 者数
	県内 公立	県内 私立	県外 公私立				
平成23年 3月卒	504 73.5	115 16.8	23 3.4	20 2.9	15 2.2	9 1.3	686
平成24年 3月卒	499 75.6	83 12.6	27 4.1	25 3.8	7 1.1	19 2.9	
平成25年 3月卒	476 71.8	107 16.1	41 6.2	16 2.4	10 1.5	13 2.0	663
平成26年 3月卒	484 74.7	75 11.6	36 5.6	22 3.4	11 1.7	20 3.1	
平成27年 3月卒	478 73.1	93 14.2	36 5.5	25 3.8	10 1.5	12 1.8	654
5年集計	2,441 73.7	473 14.3	163 4.9	108 3.3	53 1.6	73 2.2	

伊万里農林高校及び伊万里商業高校への通学状況  
ほとんどが、地元からの入学者である。

単位：%

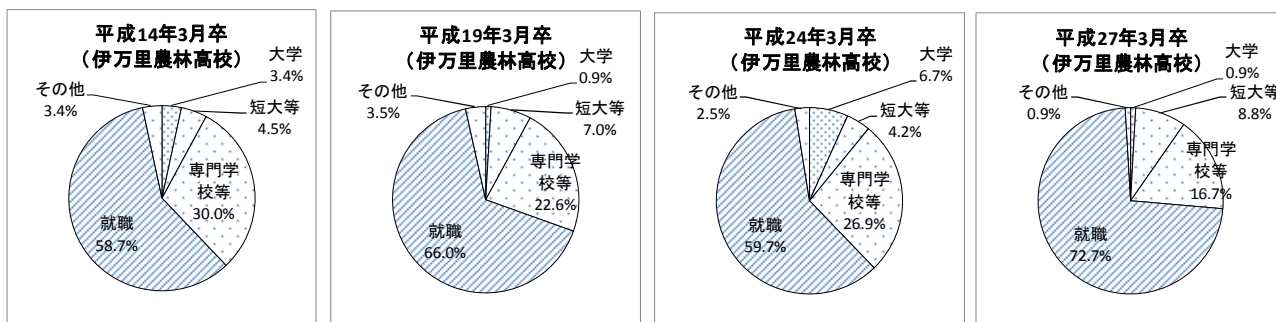
	旧東部	旧中部	旧北部	旧西部		県外等
				うち伊万里市		
伊万里農林高校	0.2	0.2	1.0	95.0	72.5	3.7
伊万里商業高校	0.0	0.0	0.5	95.8	79.0	3.7

注) 平成23年～平成27年度の高校1年在籍者の出身中学校を基に、旧学区ごとの割合を示す。(各年度5月1日現在)

(4) 伊万里農林高校と伊万里商業高校の高校卒業後の進路状況

農業科

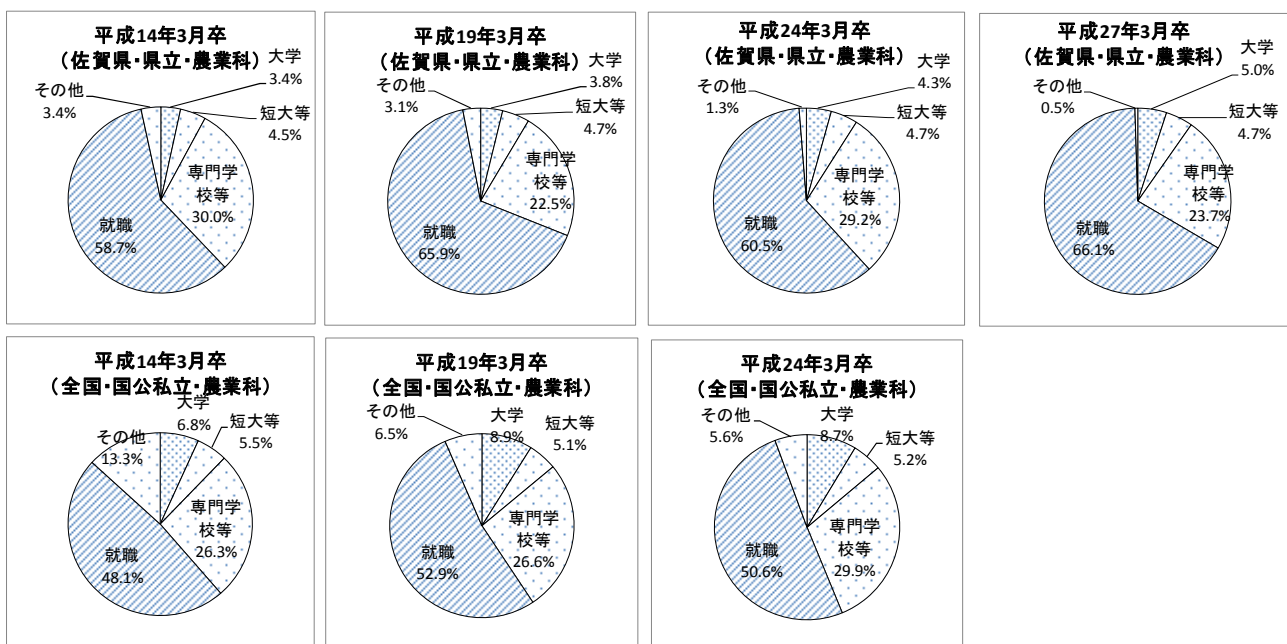
【伊万里農林高校卒業後の進路状況】



【参考 本県と全国の農業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・農業科

下段：全国・国公私立・農業科



< H27.3 卒業生の主な進学先 >

(私立) 梅花女子大学

(短期大学) 西九州短大、九州龍谷短大、長崎短大

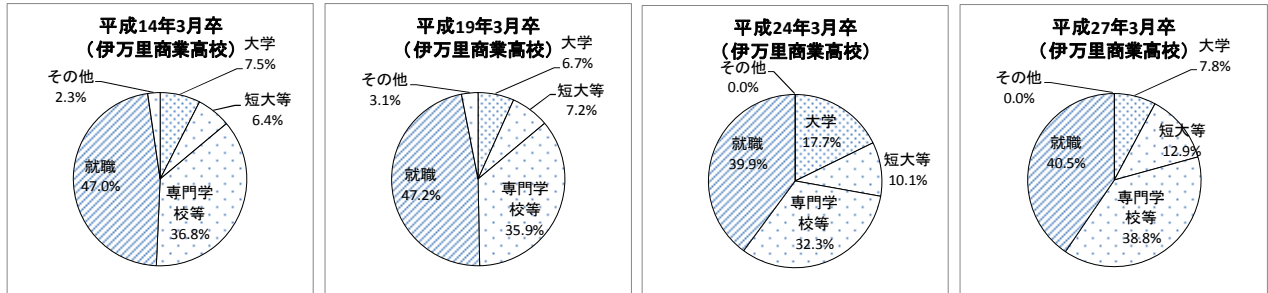
(専修学校等) 佐賀コンピュータ専門学校、中村調理製菓専門学校、佐賀調理製菓専門学校、伊万里看護学校、佐賀農業大学校

< H27.3 卒業生の主な就職先 >

伊万里市農業協同組合、伊万里湾運輸、山元記念病院、伊万里有田共立病院、亀栄建材、川井産業、川原建設、黒木建設、九州内田鍛工、JA フーズさが、SUMCO、YSK九州工場、アンスコ、市丸建設、伊万里木材市場、かねは食品、(株)玄海テック、スミショー、名村造船所、ノリタケカンパニーリミテッド、フタバ九州、マツダオートザム伊万里、丸兄商社、モスフードサービス、友愛石油、佐川急便、ヤマト運輸、玉屋、モスバーガー、宗政酒造、宮島醤油、たらみ、フランソア、マツダ、トヨタ自動車、山崎製パン、リョーユーパン、若木ゴルフ倶楽部、長崎キャノン、ハウステンボス、エレナ、王子紙業、自衛隊

商業科

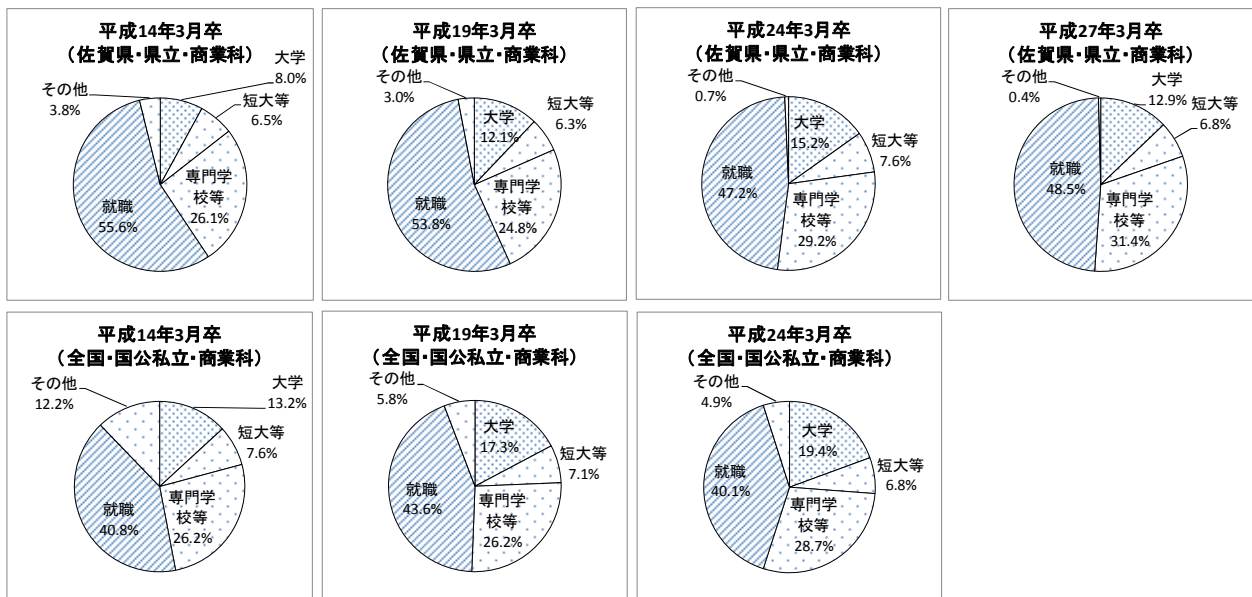
【伊万里商業高校卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の商業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・商業科

下段：全国・国公立・商業科



< H27.3 卒業生の主な進学先 >

(国公立) 長崎県立大学、兵庫県立大学

(私立) 西九州大学、九州共立大学、中村学園大学、熊本学園大学、梅花女子大学

(短期大学) 西九州短大、佐賀女子短大、長崎短大、香蘭女子短大、福岡女子短大、精華女子短大

(専修学校等) 佐賀コンピュータ専門学校、武雄看護リハビリテーション学校、緑生館、佐賀歯科衛生専門学校、麻生医療福祉専門学校、福岡看護専門学校

< H27.3 卒業生の主な就職先 > 佐賀共栄銀行、佐賀西信用組合、伊万里信用金庫、山崎製パン、デン

ソー、日本特殊陶業、林テレンプ、マツダ、昭和金属工業、JR九州、トヨタ自動車九州、ハウステンボス、佐賀県畜産公社、伊万里鉄工所、やましげ、伊万里湾運輸、SUMCO、深川製磁、西松浦通運、西田病院、エヌ・ティー、扶桑エンジニアリング、マップ・パートナーズ、アンスコ九州、アイ・エス、アイ・ケア、前田病院、山口病院、伊万里有田共立病院、西田病院、自衛隊

## 資料4 新高校の校地について

### 1 「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」

#### < 新実施計画内容 >

伊万里地区の生徒減少に合わせ、平成31年度までに、県立高等学校の再編を実施する。

再編対象校	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
新高等学校の場所	伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校の校地又は校舎制 (校地については、地域の意見も聞きながら、引き続き検討する。)
募集定員	1学年 200人(5学級規模)
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、伊万里地区については、生徒数の減により、平成33年度にさらに募集定員を40人(1学級相当)減じる必要があると見込んでいる。

### 2 「第1回伊万里地区新高校設置準備委員会（平成27年5月27日）」での御意見

#### 〔御意見〕

校地については両校ともそれぞれの愛校心があるので、なかなか決められない。例えば通学など、学習環境としてはどうかという「子供たちの視点」で学識者など第三者が協議したものを県教委側に進言してもらおうというやり方が良いのではと考える。

#### 【県教委からの意見】

今回の計画では、「伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校の校地又は校舎制」としている。

校地の検討については、前回の計画で、いろいろな要素を出して校地を比較して検討をした経緯があるが、その後、耐震化工事の実施等もあり、当時と状況が変わっている部分もある。校地の決定に外部有識者を入れて検討するというのも選択肢の一つとは思いますが、まずはこれまでの資料をもとに、新しい手法である校舎制も加えたところで、設置準備委員会の中で検討をお願いしたい。

伊万里地区高校再編計画における新実施計画以前の主な経緯

平成 14 年 10 月 定例教育委員会

「佐賀県立高等学校再編整備第一次実施計画」

- < 内容 > ・伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編し、総合選択制を導入  
・開校年度：平成 17 年度 ・設置場所：伊万里商業高校の校地  
・学校規模：1 学年 6 学級（農業科 2 学級、商業科 4 学級）

平成 17 年 2 月 臨時教育委員会

「佐賀県立高等学校再編整備第一次実施計画における専門高校等の再編計画」

- < 内容 > ・伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編し、総合選択制を導入  
・開校年度：平成 22 年度 ・設置場所：伊万里商業高校の校地  
・学校規模：1 学年 6 学級（農業科 2 学級、商業科 4 学級）

平成 20 年 3 月 臨時教育委員会

「伊万里地区の高校再編計画について」

- < 内容 > 地元の提案を踏まえ、伊万里農林高校と伊万里商業高校の平成 22 年度の再編実施を延期し、両校の再編については地元の理解を求めていくことを決定。

【地元の提案】

- ・平成 22 年度は伊万里農林高校、伊万里商業高校のそれぞれを 3 学級の単独校として存続させる。
- ・両校の老朽化や耐震化への対応や 3 学級規模での教育効果などの課題を検証しながら、今後予想される時期の生徒減少期（平成 31 年度頃）までには、伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編する。
- ・新高校の校地については、通学の利便性や施設の老朽化などを考慮して、伊万里商業高校の校地が適当と考える。



## 新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日  
佐賀県教育委員会教育長決定  
一部改正 平成17年4月 1日  
一部改正 平成18年7月12日  
一部改正 平成21年4月 1日  
一部改正 平成27年4月 1日

## (設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

## (所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
  - 二 新高校の施設・設備に関すること
  - 三 新高校への円滑な移行に関すること
  - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

## (組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
  - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
  - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

## (会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

## (事務局)

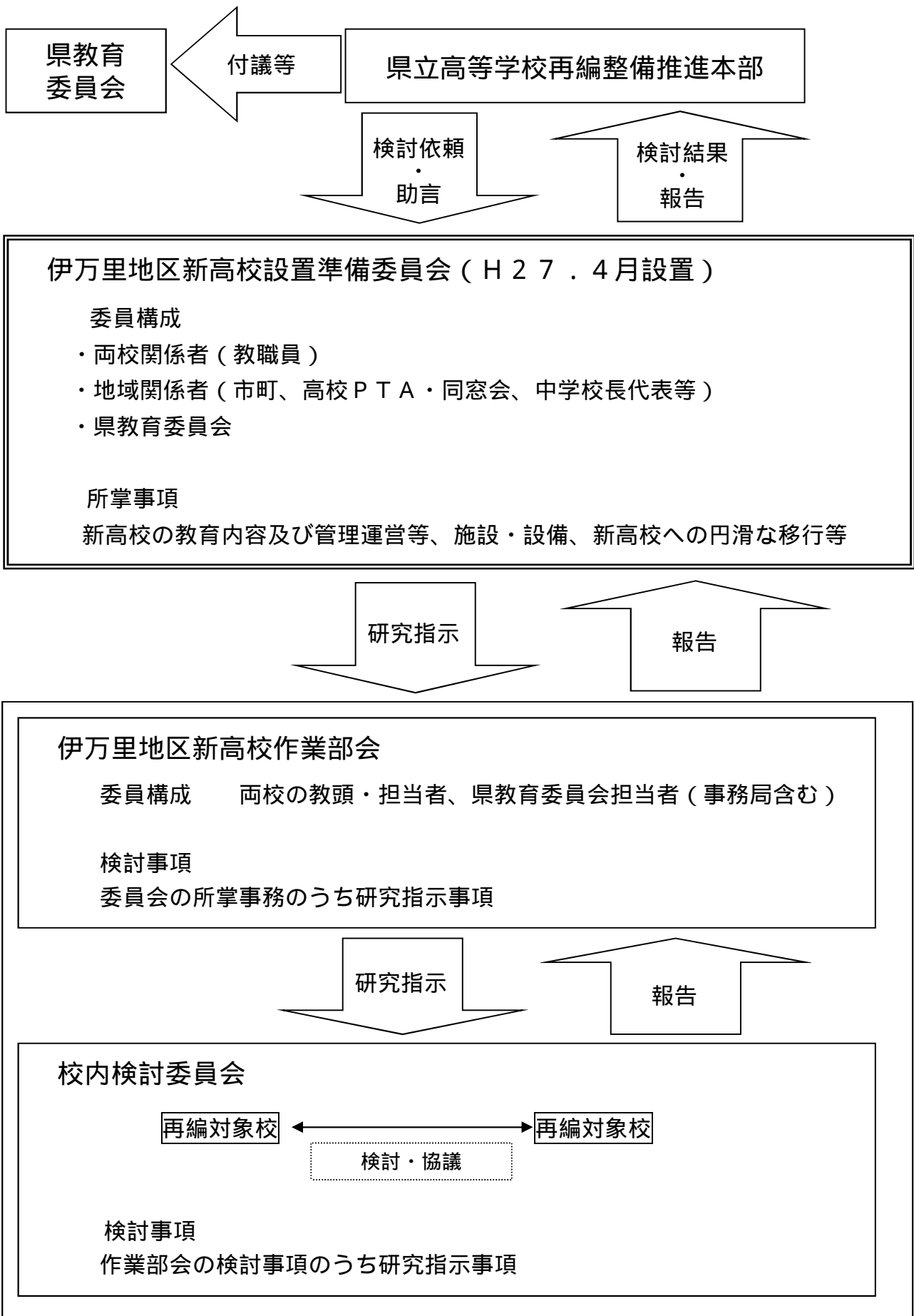
- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

## (補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



資料7 伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考
1	伊万里農林高等学校 校長	酒見 良司	委員長・学校関係者
2	伊万里商業高等学校 校長	熊谷 正実	副委員長・学校関係者
3	伊万里農林高等学校 教頭	松本 英裕	学校関係者
4	伊万里商業高等学校 教頭	円城寺 祐子	
5	伊万里市教育長	森 哲也	伊万里市関係者
6	伊万里市政策経営部長	山本 洋一郎	
7	伊万里農林高等学校 同窓会代表	岩永 康則	地元関係者
8	伊万里商業高等学校 同窓会代表	森 日出生	
9	伊万里農林高等学校 P T A代表	金子 直幸	
10	伊万里商業高等学校 P T A代表	中島 智章	
11	伊万里市立東陵中学校長	坂本 浩幸	中学校関係者
12	副教育長（教育情報課長）	福田 孝義	県教委関係者
13	教育政策課長	八谷 幸浩	
14	教職員課長	福地 昌平	
15	学校教育課長	松尾 敏実	
16	保健体育室長	三上 智一	
17	教育支援課長	源五郎丸 靖	
18	県立高校再編整備推進室 室長	甲斐 照章	
19	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰	
事務局	伊万里農林高等学校教諭	木村 紀元	
	伊万里商業高等学校教諭	田中 順	
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	上赤 真澄	
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎	